

尼都戦第 562 号
令和 5 年 3 月 23 日

尼崎市都市計画審議会交通政策分科会
会長 三古 展弘 様

尼崎市 長
松 本



(仮称) 尼崎市総合交通計画の策定について (諮問)

本市では、平成 29 年に「尼崎市地域交通計画」を策定し、過度に自動車に頼ることなく、誰もが移動しやすい交通環境の実現を目指し取り組んでいるところです。

その一方で、人口減少や超高齢化の進展等による公共交通利用の需要減少などに加え、昨今の潮流として、新型コロナウイルス感染症等の影響、生活様式へのテレワークやEコマースなどの浸透と定着やキャッシュレス決済といったデジタル化技術の革新等により、公共交通を取り巻く社会情勢が変化しています。

現在、令和 5 年度を開始年度とした「第 6 次尼崎市総合計画」を策定したことに加えて、令和 6 年度を目標として「尼崎市都市計画マスタープラン」及び「尼崎市立地適正化計画」を改定中です。特に、各駅前空間やその周辺において、都市基盤ストックを有効活用し、多様な主体と連携した交流や快適な滞在空間の創出により、地域の活性化にもつながる魅力向上に取り組んでいます。今後、阪急電鉄神戸線においては、周辺地域のより良い地域社会の形成及び持続的発展並びに環境に配慮した公共交通の利便性向上を目指すため、新駅を設置し、ファミリー世帯の定住転入の促進にも繋げていくこととしています。

こうしたことから、市民の生活様式や活動の傾向が変化するなか、上位計画等と整合・連携を図りながら、将来を見据えた交通の在り方を再構築するとともに、暮らしやすさと働きやすさが幸福感を高めるまちづくりを目指す総合的かつ計画的な交通計画の策定について諮問いたします。

以 上

(担当)
都市整備局
都市戦略推進担当